

の批判ものぞかせている。  
（父の考え方を浸透させる  
のには早過ぎた。日本に拒  
絶された部分もある。時代  
のほうが（父に）追いつい  
てきた）

復活した村上ファンドは  
今後、何を狙うのか。村上  
氏について数々のレポート  
を発表してきたジャーナリ  
ストの高橋篤史氏が語る。  
「彼らのビジネスモデルは  
かつてと変わらないでしょ

う。内部留保や不動産資産  
の多さ、株価収益率（P/E  
R）の低さなどに注目して  
割安銘柄を購入していくと  
考えられます。今の村上氏  
は実質的な個人投資家。馴  
れ合いの株主総会や取締役  
会に代表される『日本型経

営』への批判をさらに強め  
ていくのではないでしょう  
か。その手始めと目される  
のが黒田電気です。8月下  
旬に臨時株主総会を控え、  
取締役選任の要求を取引材  
料として、何かアクション  
を起こしていくはずだ」  
村上ファンドの「復活」

は、一部の企業に対する  
政府の優遇政策や透明性の  
低い日本型経営が、いよいよ  
変わらなければならぬ  
局面を迎えたことを示して  
いる。少なくとも「モノ言  
う株主」が世界経済の混乱  
と停滞感に苛まれる市場に  
「新しい風」を吹き込むこ  
とは確かである。

# マネーのプロが「半年で2割上がる」と断言する超鉄板銘柄

日本株が強いとはいえず、  
日経平均株価の上昇は年内  
に1.5割ほど。個別銘柄  
に目を転じれば、それ以上  
の上昇を望める可能性が高  
まる。海外要因やアベノミ  
クスの失速など全体の経済  
状況に左右されず、年末ま  
でに少なくとも2割以上上  
がる「超鉄板銘柄」をマネ  
ーのプロ20人に聞いた。

SBI証券投資調査部シ  
ニアマーケットアナリスト  
の藤本誠之氏はこう見る。

を運営し、取扱高は20年の  
東京五輪に向けて現在の5  
倍近くを予想。これだけ大  
きな成長予想図が描ける企  
業はそうそうなく、株価は

「これまで相場の中心だっ  
た大型株は、企業を持ち合  
い株解消の動きに加え、10  
月に予定される日本郵政グ  
ループ上場に伴う換金売り  
などもあって、若干売り圧  
力がかかりやすい。一方、  
中小型株中心の東証マザー  
ズ指数は2006年1月の  
ライブドアショック直前に  
つけた高値2800ポイン  
トに対し、現在は1000  
ポイント前後と4割に満た  
ない水準。来年には東証マ

ザーズ指数の先物が上場す  
るといふ観測もあり、流動  
性が高まる期待も相まって、  
5割高、あるいはそれ以上  
も狙える」  
藤本氏が注目するのは、  
少子化関連で婚活サービス  
を提供するIBJ、高齢化  
を見据えた創業ベンチャー  
のアクユセラなど。

で値動きするので、全体相  
場の影響を受けにくい」と  
して、17年に開業予定のム  
ーミンのテーマパークなど  
を手がけるフィンテックグ  
ローバル、あらゆるモノが  
ネットにつながる「IoT  
（インターネット・オブ・シン  
グス）」関連のジグソーな  
どを挙げる。ジグソーはカ  
ブ知恵代表の藤井英敏氏も  
推しており要注目だ。

リンクアドバイザー代表）  
は、小型株のなかでも「株  
価爆騰の3条件は『無借金  
経営』『高いROE（株主  
資本利益率）』『高成長』と  
して、アドベンチャー、フ  
ァーストコーポレーション、  
デザインワン・ジャパンの  
3社をセレクト。  
「アドベンチャーは格安航  
空券主体の比較予約サイト

年末までに2倍になっても  
おかしくない」  
相場を長年見てきた経済  
評論家の犬丸正寛氏（日本  
インタビュ新聞社社長）や日

経CNBCコメンテーター  
の平野憲一氏（ケイ・アセ  
ット代表）も「いまこそ小  
型株」と口を揃える。  
「好業績で高配当であるに

もかわらず割安な京写、  
高齢化を見据えたユニーク  
な事業のファンデリーなど  
に注目」（犬丸氏）  
「時計バンドで引っ張りだ

この日本精密、アップルの  
部品サプライヤーの鈴木、  
通販会社の支援システムを  
手がけるエイジアは、いず  
れも独自の技術力で収益拡  
大が見込める（平野氏）  
また「ロボットと自  
動車が日本の強み」と  
して、日本バイリン  
や日本電産を挙げるの  
が、岡三オンライン証  
券営業推進部長の稲田  
弘文氏だ。

推奨者	銘柄 (市場コード)	株価 (単元株数)	推奨理由
稲田弘文 (岡三オンライン証 券営業推進部長)	日本バイリン (東1-3514)	802円 (1000株)	不織布の国内最大手。燃料電池の効率化や低コスト 化に寄与する高分子電解質膜が注目。
	ラク (ジャスダック・3857)	1977円 (100株)	金融事業・公共向けシステム開発事業とサイバー攻 撃対策セキュリティ事業が柱。
	日本電産 (東1-6594)	1万690円 (100株)	精密モーター大手で、パソコンのHDDでは世界首位。 車載向けモーターも好調。
犬丸正寛 (経済評論家)	ファンデー (マザーズ・3137)	1045円 (100株)	生活習慣病患者向けの健康食の宅配事業会社。16 年3月期は10.1%の増収見通しと順調。
	ヒューマンウェブ (マザーズ・3224)	3435円 (100株)	生牡蠣レストランを全国28か所を展開。海水をイオン で殺菌し、牡蠣の無毒化に成功。
	京写 (ジャスダック・6837)	471円 (1000株)	電気製品の片面プリント配線板では世界シェア6割 の最大手。車載用などに需要好調。
植木靖男 (株式評論家)	大成建設 (東1-1801)	728円 (1000株)	新国立競技場の土台建設期待など東京五輪関連の 受注増で16年3月期以降は収益増が見込まれる。
	田辺三菱製薬 (東1-4508)	2160円 (100株)	同社開発の「ラジカット」は筋萎縮性側索硬化症の進行 を遅らせる効果があり、来夏に米で販売予定。
	ラオックス (東2-8202)	543円 (1000株)	家電量販店から中国人観光客向けに路線転換。株価 は年内に5割以上の上昇も期待できる。
岡山憲史 (マーケットバンク 代表)	ジェイアイエヌ (東1-3046)	5770円 (100株)	メガネチェーン「JINS」を運営。PC用や花粉用のメ ガネなど非視力矯正市場も開拓。
	ファンゲル (東1-4921)	1908円 (100株)	無添加化粧品品の製造販売。純利益の9割に相当する 広告費を投入し、今後の売り上げ増に期待。
	みずほフィナンシャルグループ (東1-8411)	268.1円 (100株)	フリーキャッシュフローが15年3月期で9兆2741 億円と、株主還元が必至な状況。
叶内文子 (経済キャスター)	エニゴモ (マザーズ・3665)	1493円 (100株)	日本未入荷のブランド品のショッピングサイト 「BUYMA」を運営。今年2月に会員数210万人。
	マンダム (東1-4917)	5550円 (100株)	インドネシアを中心とした海外展開が成長。男性化粧 品大手だが女性用も拡大中。
	SMC (東1-6273)	3万4450円 (100株)	FA空圧制御機器で世界首位。82か国に販売網と28 か国に工場を持ち、シェア50%を目指す。
河合達憲 (カブドットコム証券 投資ストラテ ジスト)	清水建設 (東1-1803)	1082円 (1000株)	16年3月期は前期比13.8%増と控えめな見通しだ が、中間期の上昇修正に期待。
	三菱重工 (東1-7011)	703.2円 (1000株)	国産戦闘機銘柄。空自主力戦闘機F15-F2の代替期 が近づき、いよいよ国産ステルス機開発へ。
	みずほフィナンシャルグループ (東1-8411)	268.1円 (100株)	ゆうちょ銀行上場に向けて、政府がメガバンク株の価 値を上げようとする可能性大。
黒岩泰 (黒岩アセット マネジメント 代表取締役)	ジグソー (マザーズ・3914)	1万1450円 (100株)	人に替わってインターネットによる自動監視ロボッ トを発表。英企業と自動運転車の共同開発。
	倉元製作所 (ジャスダック・5216)	453円 (100株)	次世代電池として注目のマグネシウム電池事業に参 入。水に浸すと点灯するLEDライトを開発。
	フィンテックグローバル (マザーズ・8789)	198円 (100株)	2017年に埼玉県飯能市の宮沢湖畔にムーミンのテ ーマパークをオープン予定。
佐藤勝己 (フィスコ株式 担当アナリスト)	鉄建 (東1-1815)	352円 (1000株)	今3月期の営業利益は48%増の見通しだが株価は 出遅れ、第1四半期決算で見直しの可能性大。
	大和冷機工業 (東1-6459)	792円 (100株)	無借金経営でキャッシュが潤沢。外国人持ち株比率が 27%と高く、株主還元策の拡充に期待。
	ルネサスエレクトロニクス (東1-6723)	806円 (100株)	車載用半導体で世界トップ。筆頭株主の産業革新機 構がロックアップ解除後に大手に売却か。
鈴木一之 (株式アナリスト)	エス・エム・エス (東1-2175)	1713円 (100株)	介護士や看護師と介護施設や病院をネットでマッ チング。2025年問題に向けて成長を見込む。
	日本商業開発 (東1-3252)	2310円 (100株)	事業用定期借地権を利用して地主と大手スーパーな どをつなぐビジネスを関西を中心に展開。
	ベクトル (東1-6058)	1946円 (100株)	ネット媒体を使って顧客企業の価値を高めるPR会 社。6期連続で史上最高益を更新の見通し。
戸松信博 (グローバル リンクアドバ イザーズ代表)	ファーストコーポレーション (マザーズ・1430)	5020円 (100株)	東京、神奈川、千葉で分譲マンションを建設。無 借金、高ROE、高成長性で株価は5割増も。
	アドベンチャー (マザーズ・6030)	8330円 (100株)	格安航空券の比較予約サイトを運営。今期営業利 益が471%増と絶好調。爆騰期待銘柄。
	デザインワン・ジャパン (マザーズ・6048)	5230円 (100株)	オールジャンル対象の店舗情報サイト「エキテ ン」を運営。様々な業種を開拓し、業績は急拡大。

「日本企業の設備投資  
増が追い風となる岡本  
工作機械製作所、時価  
総額は大きい成長余  
地の大きいメニコン、  
C Y B E R D Y N E は  
ギリシャ危機や上海株  
急落でも株価が下がり  
なかつたことから下  
値は固く、上値を追う

情報フィクサー  
「兜町の石原」とは何者か。  
黒幕「裏社会の案内人」

脳と度胸で成り上がった現在の情報フィクサーの封印された半生に迫る傑作ノンフィクション!

伊藤博敏 著  
絶対発売中

定価 本体1,800円＋税  
ISBN 978-4-03-97885-5  
「たちまち増刷!!」  
小学館

展開を予想します」

同じく藤根靖晃氏（ティ

ー・アイ・ダヴリユ ストラ

テージ・アーキテクト）も出

遅れている低位株の象印マ  
ホービン、第一実業などに  
注目する。

興味深い狙い目を挙げる

から東証1部に市場変更す

のは、東京IPO編集長の  
西堀敬氏。

「東証マザーズや東証2部

から東証1部に市場変更す

る、鞍替え銘柄は、過去  
にも大きく値を上げてきた

今後市場変更の期待が高ま

るムゲンエステートやジャ

パンインベストメントアド  
バイザーなどを先回りして  
仕込むことができれば、よ

り確実な収益機会が得られ

るでしょう」

推奨者	銘柄 (市場コード)	株価 (単元株数)	推奨理由
富田康夫 (日刊株式経済新聞 編集長)	日産化学工業 (東1・4021)	2872円 (100株)	同社の「液晶配向膜」はスマホなどの中小型パネル向けでは世界シェア90%以上を占める。
	TOA (東1・6809)	1353円 (100株)	16年3月期は、売上高、営業利益とも前期比10%前後増と、過去最高益を更新の見通し。
	野村ホールディングス (東1・8604)	889.4円 (100株)	郵政3社の上場で株式市場が活性化。トヨタ自動車の新型種類株券の単独主幹事などもプラス。
西堀敬 (東京IPO編集長)	ムゲンエステート (マザーズ・3299)	2338円 (100株)	昨年6月にマザーズに上場し、業績も好調。早ければ7~9月に1部上場が見込まれる。
	VOYAGE GROUP (マザーズ・3688)	2288円 (100株)	メディア向け広告配信プラットフォームの企画・運営など。早ければ8~11月に1部に鞍替えが予想される。
	ジャパンインベストメントアドバイザー (マザーズ・7172)	1697円 (100株)	航空機などを対象にしたオペレーティングリース。8~11月に1部に市場変更が予想される。
東野幸利 (DZHフィナンシャルリサーチ日本株 情報部部長)	岡本工作機械製作所 (東2・6125)	218円 (1000株)	主力の平面研削盤や大型特殊研削盤など工作機械が順調に推移。半導体関連装置も製造。
	CYBERDYNE (マザーズ・7779)	3175円 (100株)	ロボテスーツ「HAL」を開発。欧米や日本での保険適用拡大が予想され、成長余地大。
	メニコン (東1・7780)	2446円 (100株)	今年6月の上場後、大きく値を下げたが、成長性の高い企業なので絶好の買い場といえる。
平野憲一 (ケイ・アセット代表)	エイジア (マザーズ・2352)	1446円 (100株)	通販会社の支援システムを手がける。きめ細かい接客を可能にする自動売買システムが売り。
	鈴木 (東1・6785)	707円 (100株)	自動車電装品や電子部品のコネクタが主力。注目はアップルの部品のサプライヤーである点。
	日本精密 (ジャスダック・7771)	328円 (1000株)	時計バンドが主力の金属加工会社。カシオの60%の部品を手掛ける他に、セイコーからも受注。
藤井英敏 (カブ知恵代表)	バイクユーブ (東1・3681)	2133円 (100株)	ドローンによる各種設備、社会インフラの保守点検や災害対策分野のサービスの年内提供を目指す。
	エムケイシステム (ジャスダック・3910)	2万50円 (100株)	社労士向け業務支援ソフトによるサービスを提供。10月からのマイナパン1制度が追い風。
	ジグソー (マザーズ・3914)	1万450円 (100株)	自動運転車や自動操縦などの技術の共同研究で、英「Kudan」社とパートナー契約。
藤根靖晃 (ティー・アイ・ ダヴリユ ストラテジー・アー キテクト)	ウチャマホールディングス (東1・6059)	510円 (100株)	全国展開している介護施設の運営が堅調。独自のノウハウにより入所者数が業界平均より多い。
	象印マホービン (東2・7965)	1961円 (1000株)	中国、東南アジア向けの炊飯器の輸出が好調。今期予想も四半期ごとに上方修正されている。
	第一実業 (東1・8059)	679円 (1000株)	小型バイナリー発電では他社に比べ技術優位性あり。大分の温泉地帯などで採用が進む。
藤ノ井俊樹 (エフピーアイ 代表取締役)	タクミナ (東2・6322)	957円 (100株)	定量ポンプ大手。海洋環境汚染で問題のバラスト水管理の国際条約が決まれば特需が。
	帝国通信工業 (東1・6763)	223円 (1000株)	今期予想に前期の為替差益6.97億円を入れておらず、前提レート110円なので増額修正期待。
	チノ (東1・6850)	1261円 (100株)	燃料電池評価試験装置を手がけており、燃料電池関連の材料で人工化の可能性大。
藤本誠之 (SB証券シニア マーケット アナリスト)	アキュセラ (マザーズ・4589)	723円 (100株)	眼疾患の創業ベンチャー。最終的に失明する加齢黄斑変性では進行を止める内服薬が注目。
	IBJ (東1・6071)	1553円 (100株)	各種婚活サービスを提供。成婚率が高く、出生率低下に歯止めを掛ける国策銘柄となる可能性。
	U-NEXT (マザーズ・9418)	7000円 (100株)	映像配信サービス事業に期待。今秋、米大手「ネットフリックス」の日本上陸で、パイ拡大予想。
三井智映子 (フィスコリサーチ レポート)	ネクスト (東1・2120)	1027円 (100株)	不動産情報サイト「ホームズ」運営。買収したスペイン企業の寄与で、急激な利益成長を見込む。
	ディア・ライフ (マザーズ・3245)	2339円 (100株)	投資用マンションの企画開発。今9月期の経常益を96.1%上方修正。8期ぶりに過去最高益を更新。
	エムティーアイ (東1・9438)	900円 (100株)	婚活アプリ「ルナルナ」は700万ダウンロードを超え、日本語版以外の多言語版で世界に拡大も。
和島英樹 (ラジオNIKKEI 記者)	オープンハウス (東1・3288)	2127円 (100株)	子会社化した「アサカワホーム」が持つ建築・施工能力と同社の営業力のシナジー効果に期待。
	ウェザーニューズ (東1・4825)	4445円 (100株)	航海向けに「燃費の良い航路」「台風を避けながら早く着く航路」という最適運航システムが好調。
	富士通フロンテック (東2・6945)	1763円 (100株)	ATMなどの金融・流通端末が主力。東京五輪に向け海外カードが使えるATMの拡充に注力。

「鉄板銘柄」、年末には  
いくらに化けるのか  
める」  
プロたちが見立てた

「10月に上場予定のゆ  
うちよ銀行の売り出し  
価格は類似会社のメガ  
バンクの株価が参考に  
されるため、ゆうちょ  
銀行の大株主である政  
府の「売り出し価格を  
高くしたい」という思  
惑を見越して外国人投  
資家が3メガバンクの  
株を買い進める可能性  
が高い。なかでも株価  
の低いみずほファイナ  
ンシャルグループ株は上  
昇が期待できるため、  
いまのうちに仕込んで  
おいて上場前に売れば  
2割程度の上昇は見込  
める」